

(3) 事業計画 ※欄に収まらない図表等がある場合は別添も可

①創業の目的	
<ul style="list-style-type: none">この事業は何を目的としたものであるか記載してください。以降の記載欄に詳細を書き込む場合、本欄の記載は簡潔なものとなっても構いません。	
②事業内容 ※「何を」「誰に」「どのように」提供するか記入	
【何を】	
【誰に】	<ul style="list-style-type: none">事業の具体的な内容を、第三者にも理解できるように記載してください。どのような層をターゲットとしているか、その層をターゲットとした理由や根拠なども記載してください。
【どのように】	
③収益モデル ※どのように収益を上げるかを記載	
<ul style="list-style-type: none">その事業で利益が出ると見込まれる根拠売上や原価率、インシヤルコストやランニングコスト、利用客数をどのように想定したうえで、利益が見込める構造になっているのか。など	
④事業を進める上での課題と対応方法	
<ul style="list-style-type: none">事業に関する具体的な課題やリスクとその対応方法を記載してください。 (例：資金、立地、競争、顧客獲得、人材不足など)	
⑤展開しようとしているビジネスが成立する根拠	
業界経験の有無 ※未経験の場合は () 業界知識を習得する方法を記載	
<input type="checkbox"/> 有り	
<input type="checkbox"/> 無し ()	
関連資格の有無 ※ある場合は () 内に資格の名称を記載	
<input type="checkbox"/> 有り ()	
<input type="checkbox"/> 無し	
差別化要因の整理 ※該当するものすべてに☑	
<input type="checkbox"/> 商品・サービス <input type="checkbox"/> 提供方法 <input type="checkbox"/> 販促方法 <input type="checkbox"/> 価格 <input type="checkbox"/> 顧客 <input type="checkbox"/> その他	
差別化要因の内容 ※上記差別化要因ごとに新規性・独自性・競争優位性などの強みを記入	

⑥売上計画 ※⑦収支計画との整合を図ること

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	年 月～ 年 月期	年 月～ 年 月期	年 月～ 年 月期	年 月～ 年 月期	年 月～ 年 月期
売上高	千円	千円	千円	千円	千円
売上高の積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 「千円」単位で記載してください。 創業後5年間の売上高見込みを1年度ごとに記載してください。 年度の捉え方は個人事業、法人の決算期に合わせて構いません。 「1年目」について、年度途中で事業を開始する場合は、事業開始から年度末までの見込としてください。 初期計画であるため、実績と異なることはやむを得ませんが、一定程度根拠をもった金額としてください。 ⑥売上計画と⑦収支計画は整合性がとれる記載内容としてください。 				
売上増の方法					

⑦収支計画 ※売上計画との整合を図ること

単位：千円

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
(a) 売上高						
(b) 売上原価（仕入）						
(c) 売上総利益(a-b)						
(d) 販売管理費合計						
(d)の内訳	人件費					
	賃借料					
	減価償却費					
	旅費交通費					
	通信費					
	広告宣伝費					
	事務・消耗品費					
	外注費					
	その他経費					
(e) 営業利益(c-d)						

- それぞれの年で、
(a)売上がどれくらいで
(b)原価がどれくらいで
(d)支出はいくらで
(e)儲けはどれくらいか。
という単純な加算減算で考えて構いません。
- 減価償却や繰越といった要素は必要なく、単年度における「儲け」がどのように変動していくのかといった見込を説明するための資料です。
そのため、今後予定している確定申告書類や金融機関に提出する書類との整合性は求めません。

⑧事業スケジュール

実施時期		具体的な実施内容
1年目	～ 月	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 「(a)売上高」に記載された売上を得るために、どのような取り組みを行い、その結果、どのようなになる想定なのかを具体的に記載してください。 例) 関係者とのネットワーク構築、人材確保、新たな設備投資、販路開拓、新たな事業展開 など </div>
	～ 月	
	～ 月	
	～ 月	
2年目		
3年目		
4年目		
5年目		

⑨営業時間・営業日 ※週 20 時間以上町内で営業すること

時 分 ～ 時 分
月 火 水 木 金 土 日

基本的な営業日時を記載してください。なお、「週 20 時間以上営業すること」が補助金交付要件です。

(4) 多古町商工会の推薦

本事業計画書作成にあたり、多古町商工会に支援を受けること。

また、多古町商工会から支援を受け、本事業計画書を作成した証として、下記の欄に記入押印を受けること。

-----多古町商工会記入欄-----

多古町長 あて

本事業者は、多古町魅力活力にぎわい創出支援事業補助金交付要綱に規定する補助対象者として適当であると認められますので推薦いたします。

(経営支援機関)